

み、箱はあっという間に満杯になった。前日の試合でのミスを冗談まじりに海野会長がチクリと言った。愛嬌たっぷりに「ゴメンネ」と笑顔で返すドゥドゥ選手。そのやりとりから、海野会長の期待と、言語や文化を超えたチームとしての一体感がうかがえた。ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブは、Jリーグに所属するヴァンフォーレ甲府の母体となる企業である。選手、スタッフ、チーム全てを、大黒柱として支える海野会長は毎年、自身が育てたぶどうでワインを造る。余暇の趣味として栽培していたぶどうだったが、せっかくならば大切な人への贈り物として全選手にぶどうを送ったことがきっかけだ。果実が多く採れる山梨ならではの「おすそわけ文化」である。2012年、チームが発足してから初

のJ2リーグ優勝を飾ったことを機に記念品としてワインに加工した。以来毎年、交流のある「アルプスワイン」に200本限定で醸造を委託。ユーモアあふれるオリジナルのラベルを貼り、「ヴァンフォーレビクトリーワイン」として家族、知人、選手、スタッフに配布。販売は一切していない。2016年8月、世界30カ国からワインが出品される国際品評会「ジャパン・ワイン・チャレンジ」にて、醸造を委託しているアルプスワインの「ジャパニーズスタイルワイン」がプラチナ金賞を受賞した。1,600点以上の出品からわずか12銘柄しか選ばれない最高位の賞だ。このワインに海野会長の栽培するマスカット・ベリーAもブレンドされている。「趣味のつもりで始めたぶどうが、いろいろな人に

喜んでもらえて、賞を獲ったワインにも使われているのは嬉しいことだね」。海野会長が照れくさそうに喜びを語ってくれた。農家の家に生まれ、家業を継ぐためにと東京農業大学を卒業した海野会長だったが、結果的に農家ではなく違う道を志し歩んできた。父親が亡くなられた後引き継いだ農地のうち、2反(約600坪ほど)のぶどう畑だけを奥様と夫婦二人三脚で耕作している。ヴァンフォーレの絆を深める海野会長のぶどうは、チームへの愛情をたっぷりと吸収してたわわに実り、収穫を待っている。



自慢のぶどうを手にする海野会長



ダヴィ
背番号9
ポジションFW
1984年3月10日生まれ
血液型 O型
出身 ブラジル
甲府在籍年数3年目



マルキーニョス・バラナ
背番号6
ポジションMF
1977年7月20日生まれ
血液型 不明
出身 ブラジル
甲府在籍年数4年目

ドゥドゥ
背番号10
ポジションFW
1990年4月21日生まれ
血液型 不明
出身 ブラジル
甲府在籍年数1年目